

あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL & FAX 558-0718

あきる野市員会は次の見解を発表しました。

なんとしても 政治の中身を 変えたい！

全都一斉 いまこそ 駅頭宣伝 対話の輪を広げて…



あきる野市議団を先頭に駅頭宣伝

十月二十四日、あきる野の党と後援会は、総選挙勝利にむけて、全都的な取り組みに応じて駅頭宣伝を行いました。

当日は、秋川駅頭にて午後四時から五時までとりくみ、ポスター、旗などで飾り、おおいに通行人の注目を引きました。

参加した党と後援会員が通行人にピラを渡し、支持を訴えました。

市民とピラを手に 対話の輪が…

市議がつぎつぎとマイクを握って…
戸沢弘征、山根とみえ、影山保の各市議会議員が次々とマイクを握り、国会を中心とした選挙情勢、日本共産党が若者をはじめ、各層の国民から期待されていることを話し支持を訴えました。

通行人の中には、議員と対話する人もいました。秋川駅は高校生が多勢乗り降りしますが、党と後援会の宣伝行動を珍しそうに見て通っていきます。「このピラ、社会科の勉強になるよ」とピラを出す数人の生徒が受け取りました。

野良望

▼ベットに横になりモニターを見上げる。暗い画面に一条の光が射し「それでは行きまますよ、楽にしてください」とドクターの声。やがて鍾乳洞のような画面に光が進んでいく。▼「おやつ、これがポリープってやつか！」「えっ、その手前のクレーターの様なものはなにっ！」「と、大腸カメラ初体験は始まった。▼二、三カ月前から多少の症状があつて、経験から「痔」だと思ひ込み外科を訪ね、大腸カメラ検査をすすめられた顛末がこれだ。▼大腸内にポリープ2箇所、癌腫瘍が4カ所という診断。幸い他臓器への転移なしの検査結果を受けて左半結腸切除手術(65cm)。▼術後の経過も極めて良好で通常術後3週間の入院を10日で退院。主治医も「極めてラッキーなケース」「薬投与もなく、5年間のフォローだけ」。お陰で現在は元氣な余後。それにしても定期検診の大切さを今更に思い、読者諸氏には強くすすめた。(紀)

制度解説

衆議院選挙の投票は2回あります。比例代表は「日本共産党」とお書きください。
●小選挙区は候補者名を書いてください。

都内各地で熱烈に訴える比例代表候補



小選挙区衆院東京25区で奮闘する鈴木おさむ 予定候補

なほらしき こども くらし



たばた あずみ

「いつまでが赤ちゃんなの？」1歳さんのお母さんに聞かれました。

わたしは1人目を育てていたとき、2歳はもうお兄ちゃんだとこどもに言い聞かせ、自立させようとしてました。

2人目が2歳になったとき、あまりにも赤ちゃんでびっくり。こんなちいさいひとをお兄ちゃん扱してたなんて。

3人目、すでに3歳。わからんちんをやるたびに「ごめんね、まだ赤ちゃんだからね」と、代わりに言える今のわたし。

これまで母親をやってきてわかったのは、もう〇歳だから、と思ってやったことはろくな結果にならない。まだ〇歳だからと思ってやった方がうまくいくってこと。だから答えは「まだまだ、当分赤ちゃんですよ」。(08.11.9)

連絡先は☎550-6674

地域の支部・後援会 活発に宣伝活動を展開中!

山根とみえ議員も参加して



二宮後援会

日本共産党二宮後援会では、山根とみえ議員も一緒に参加し、

宣伝カーとハンドマイクで



五日市支部

「温泉問題の時、宣伝カーを回したのが効果的だった」「自民・公明はもうダメだと思ってる人が多い」「公示までしか音を出せない」「定時定点の演説をやる」「など意見が出され、さっそく影山議員にお願いして、宣伝カーを、月、土の午後、ずつと五日市に貸してもらおう

毎週水曜日にハンドマイク宣伝を行っています。総選挙で日本共産党の議席を増やし、後期高齢者医療制度の廃止、消費税の増税はやめさせようと訴えています。麻生総理誕生の総裁選挙後も自民党の支持率は思ったように上がらない為、解散総選挙が極めて流動的になっているいまこそ、宣伝を強める時と頑張っています。来たるべき総選挙で政治を変えるために、活動をゆるめるとなくこれからも続けていきたいと思っています。

ことにしました。車は二人、他の人は、組を作ってハンドマイク宣伝。路地裏を何ヶ所もマイクで訴えます。鈴木富雄さんが、早速5つのテーマの原稿をつくって、先頭に立ちました。それぞれの弁士が、マイクでゆつくり語りかけます。まわりの家々には、党押し出しパンフを配ります。山沿いの道、川沿いの道も、テープを流しながら、走ります。思いがけず手を振ってくれる人に出会います。演説中、大きな声で「がんばれ」といつてくれる人、静かに頭を下げて通り過ぎていかれる人など、ありがたいです。10月はのべ6日、11月もがんばります。

日本国民救援会第42回 三多摩支部大会を開催



日本国民救援会三多摩支部の第42回大会が11月1日、五日市の地域交流センターで開かれました。三多摩の各支部や痴漢冤罪などの事件関係者が参加、熱心に論議しました。松平副支部長が秋川流域支部の発展を報告。最後に秋川流域支部の野口マリコさんを会長とする新役員を選出し大会を終了しました。



絵手紙/鈴木和子さん・入野在住

柳 解散はいつのことやら巖流島 矢継ぎ早三代続き仮総理 西川昇
バー詣で増税語る鉄面皮 松嶺坊
消費税福祉のためと何時も言ひ 松嶺坊

歴史探訪 第78回 地名考・引田②



六枚屏風岩の一部
草花 木崎秀治

一六八五年(明一八)の「地名索引」ではヒキダ(引田)・ヒキタ(引田)・ヒキタ(疋田)・ヒケタ(疋田)と全国に九ヶ所あります。「ヒキ」は「低い」意ですから「ヒキタ」は「低い所にある田」となります。しかし現在の引田が低い土地とも思われず、むしろ秋留つ原の台地に集中していますので、古代の引田村は秋川沿いの低い地に集落を形成し、低田を開拓し生計を立てていたのでしょう。時代を経て村が大きくなるに従って、北の台地に移住拡大したのと思われれます。引田地区秋川南面に都指定の天然記念物「六枚屏風岩」があります。今では東京サマランドの敷地となつていますが、この岩の景観は古来から評判の様子で、江戸期の古文書でも絶好の景色と紹介されています。著書「東京都の文化財」では、以下のように説明しています。

「秋川に架かる引田橋から下流へ六〇〇米の河川が強く屈曲した右岸に六枚屏風岩は立地している。周辺の加住丘陵(秋川丘陵)の地質は加住礫層と呼ばれて、礫と砂からなる柔らかな地層で、悪地地層と云われている。悪地地層とは植物の育成に乏しく、軟弱な地層で緩やかな傾斜で発達している。丘陵の北西縁部が特に著しく、この場所が六枚屏風岩で壮観な景色を呈している。関東で極めて稀な悪性地形の好例である」(続く)

俳句
つづぬけの井戸端会議暮れの秋 (淑子)
ブラクターに育てし芋の味見かな (勝代)
木犀の花を散らして雀かな (つや)
鯛雲鳥をほみ出す鶯の輪 (かほる)
熊笹の藪に溢るるななかまど (和恵)
芋づるの先に何ある子供の目 鳥鳴くや籠に溢るる庭の柿 (忠治)
粧ひし多摩の山並鴉鳴く 山坂を九十九に折れてななかまど (香治)